

2 汀線調査

(1) 目的と概要

空港島及び空港対岸部の周辺海域における、汀線変化の現況を把握するため、平成22年6月に図5に示す12測線において汀線測量を行った。汀線の水位には、平均水位（基本水準面（C.D.L）+1.23m）を用いた。

(2) 結果

汀線位置の平面図を図6に示した。

また、各測線における平成12年度からの長期変化を図7に、前年度からの短期変化を図8に示した。

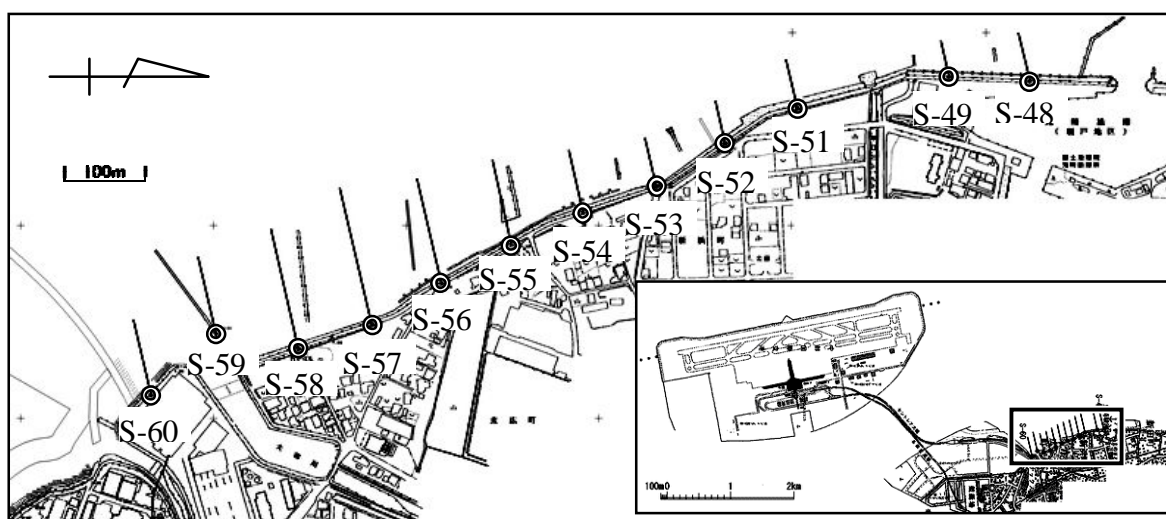


図5 汀線調査点



図6 汀線位置（C.D.L+1.23m）平面図

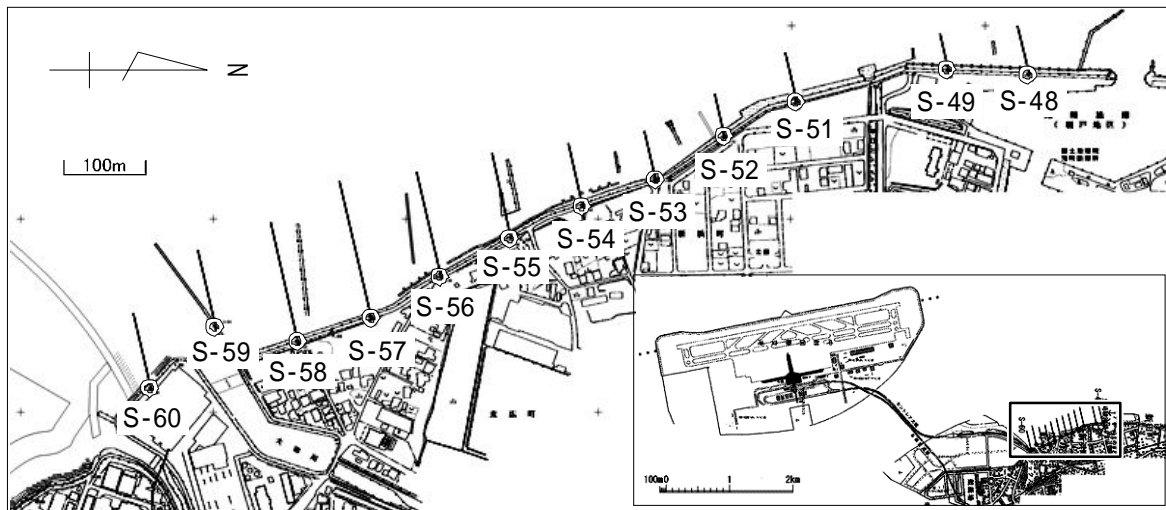
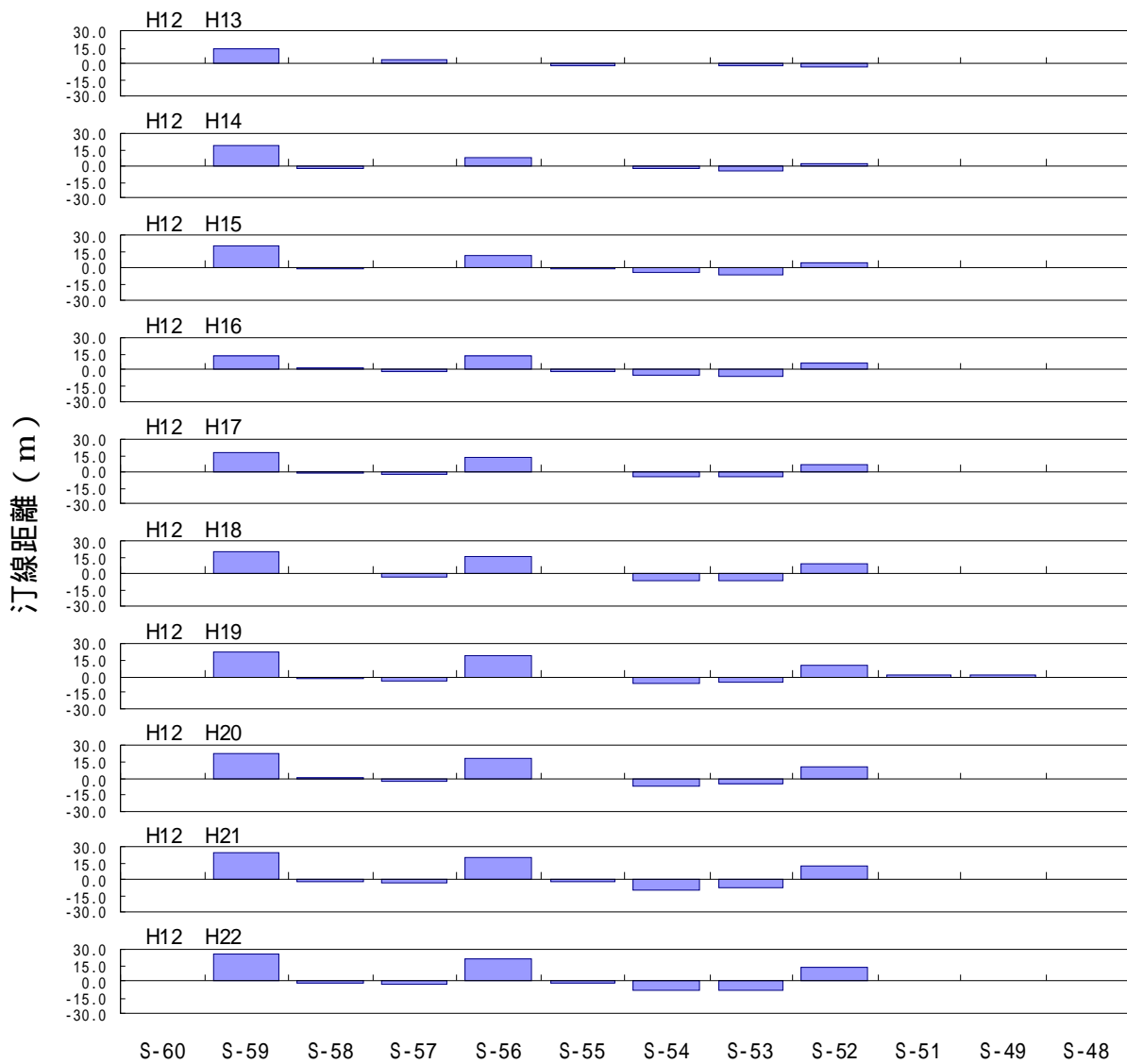


図7 長期的な汀線位置 (C.D.L+1.23m) の変化

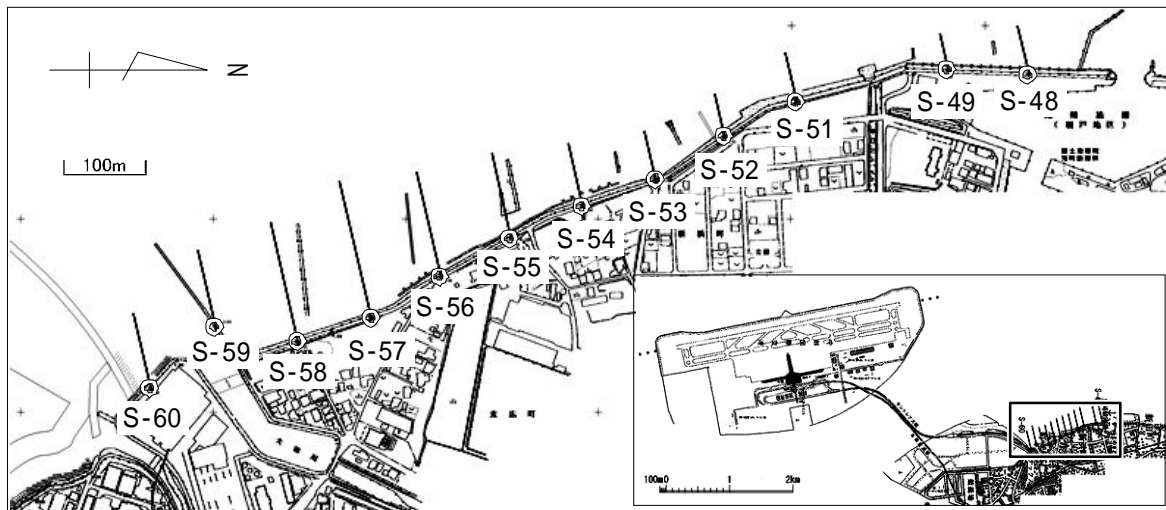
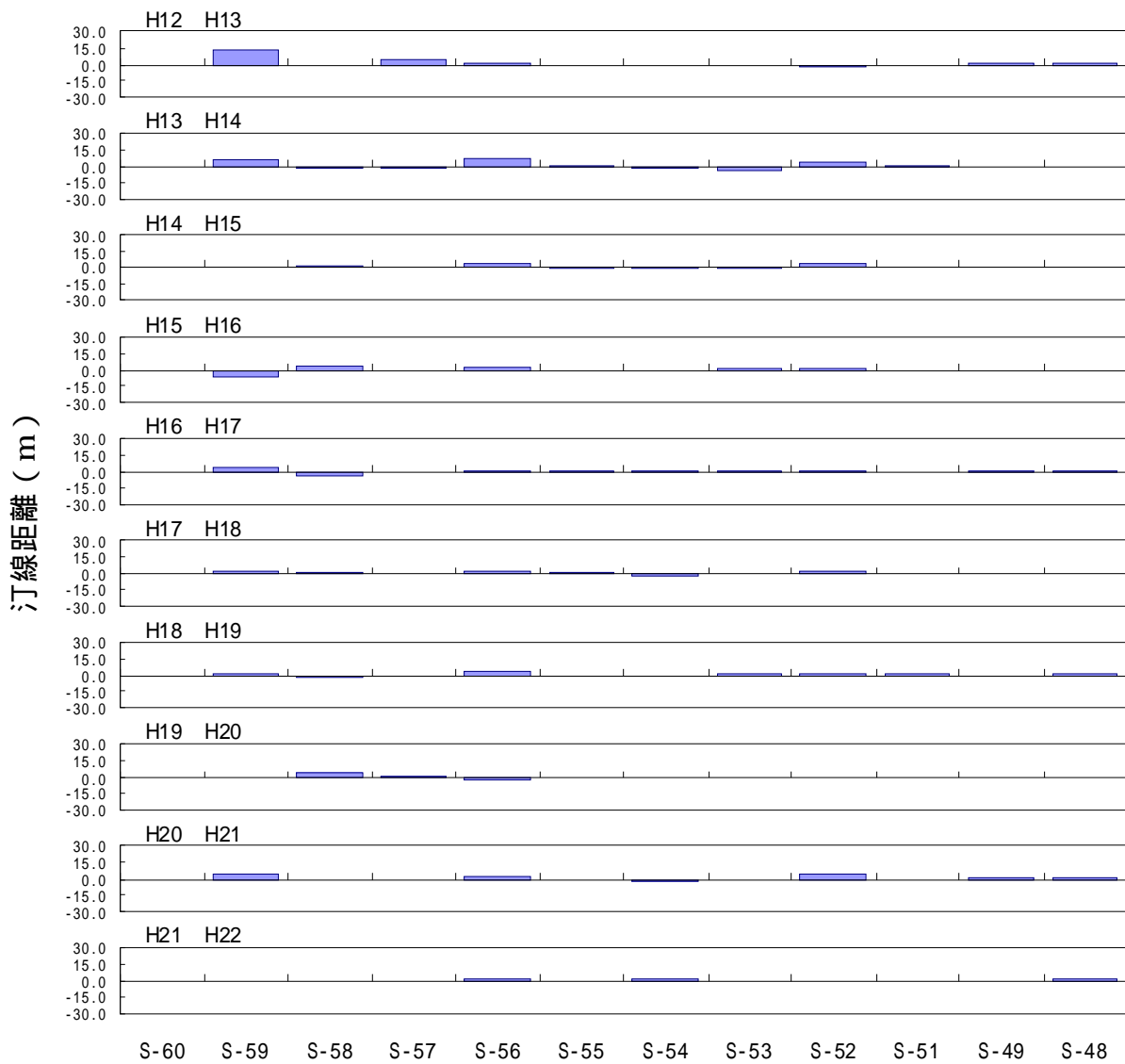


図8 短期的な汀線位置 (C.D.L+1.23m) の変化

(3) まとめ

今回の調査では、昨年と比べて大きな(10m以上)汀線変化があった箇所は見られず、変化の最大最小は1.0m(S-54), -0.5m(S-59)と、例年通り調査区間における汀線変化は小さかった。